

様式第1号（第4条関係）

年度 市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援事業計画書

支 援 対 象 者	氏名 _____ 住所 _____
	_____ 学校 _____ 学部 _____ 年 _____
	送迎区間 _____ ~ _____
	送迎距離（片道） _____ km
	氏名 _____ 住所 _____
	_____ 学校 _____ 学部 _____ 年 _____
	送迎区間 _____ ~ _____
	送迎距離（片道） _____ km
事務所所在地	
送迎（予定）者 （介助者を含む。）	氏名 _____ 氏名 _____ 氏名 _____
介助者がある場合は、介助の理由	
送迎総距離	片道 _____ km
実施時期	_____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月 まで
実施予定回数	年間 _____ 回（ _____ 日）
基準額による算定額 (A)	_____ 円 × _____ 回 = _____ 円
事業実施経費 (B)	_____ 円
交付金申請額	_____ 円 (A) または (B) のいずれか低い額

注 支援対象者欄の「送迎区間」には、市名又は町村名及び大字名を記入すること。

添付書類 送迎の路線及び各停留所を示した地図

※他の交付金の活用の有無（○をつけてください）

有	活用する助成金名： 交付金事業内容： 交付金所管部署名、団体名： 問い合わせ先：
無	

様式第2号（第4条、第7条関係）

年度 市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援事業収支予算（決算）書

1 収入

（単位：円）

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	備 考
交 付 金			
合 計			

2 支出

（単位：円）

区 分	本年度予算額 (本年度決算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	備 考
合 計			

注 対象事業の実施に必要な賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料、備品購入費、保険料等の区分ごとに記入すること。

3 対象事業の実施経費のうち、工事請負費及び委託料について、県内事業者への発注が困難な理由等（該当がある場合についてのみ記載）

（番 号）
年 月 日

様

鳥 取 県 知 事 印

年度 市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援事業交付金交付決定通知書

年 月 日付けの申請書（以下「申請書」という。）で申請のあった市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援事業交付金（以下「本交付金」という。）については、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号。以下「規則」という。）第6条第1項の規定に基づき、下記のとおり交付することに決定したので、規則第8条第1項の規定により通知します。

記

1 対象事業

本交付金の対象事業の内容は、〇〇〇とする。

2 交付決定額等

本交付金の交付決定額は、金 円とする。ただし、対象事業の内容が変更された場合における当該額については、別に通知するところによる。

3 交付額の確定

本交付金の額の確定は、対象事業の実績について、市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援に対する交付金交付要綱（平成16年4月12日教障第19号鳥取県教育委員会教育長通知。以下「要綱」という。）第3条第2項の規定を適用して算定した額と、2の交付決定額（変更された場合は、変更後の額とする。）のいずれか低い額により行う。

4 補助規程の遵守

交付金の收受、対象事業の遂行等に当たっては、規則及び要綱の規定に従わなければならない。

様式第4号（第7条関係）

年度 市町村等が行う特別支援学校児童生徒通学支援事業実績報告書

支 援 対 象 者	氏名 _____ 学校 _____
	氏名 _____ 学校 _____
	氏名 _____ 学校 _____
	氏名 _____ 学校 _____
送 迎 者 (介助者を含む。)	氏名 _____
	氏名 _____
	氏名 _____
	氏名 _____
送 迎 距 離	片道 _____ km
実 施 時 期	_____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月 まで
実 施 回 数	_____ 回 (_____) 日
基準額による算定額 (A)	_____ 円 × _____ 回 = _____ 円
事業実施経費 (B)	_____ 円
交付金実績額	_____ 円 (A) または (B) のいずれか低い額

※添付書類 送迎者、介助者及び実施回数を確認することができる台帳、日誌等の書類

※他の交付金の活用の有無（○をつけてください）

有	活用する助成金名： 交付金事業内容： 交付金所管部署名、団体名： 問い合わせ先：
無	